



東京金山会通信 No.8

東京金山会 広報担当 (藤山善夫)
☎080-5525-0435
✉fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

初雪のニュースが聞かれる季節になりました。今年はや暖冬の様ですが、冬支度はお済みですか？

11月9日、東京金山会事務所において親睦会を開催し、多くの皆様にご参加いただきました。ありがとうございました。初めてお会いする方もいましたが、「金山町出身者」の話題は尽きることがなく、賑やかな歓談でした。また、金山町からは井上様と川崎様にお越しいただき、先に設立された「ここから」のお話をお聞きすることができました。

我が故郷金山町の母ちゃんの味をつまみに「んめべえ〜」等々、方言が飛び交う楽しい宴でしたが19時に名残惜しく一本締めで終了しました(終了予定は16時でした)。次回は餅つき(納豆、ずんだ、クルミ、大根)金山風芋煮会(塩鯨とじゃがいも)納豆汁(ずいき入り)などを考えておりますので、皆様お誘いあわせのうえご参加ください。皆様のリクエストやご要望もぜひお聞かせください！

最後にこの日のおふくろ料理を紹介します！
【ふきいり・コゴミ・ゼンマイ・ワラビ・切りこぶ・切り干し大根・焼き豆腐の煮物・ウツコ鍋・シソみそ・ゴボウたたき(みそ、醤油)・漬物(きゅうり、なす)・枝豆・近内せんべい・つや姫おにぎり・つや姫おひたしさん】



親睦会に参加した方々で記念撮影。終了時間をオーバーして、盛り上がりました。次回開催に乞うご期待！

「森の子ども図書コーナー」 No.167 交流サロンぽすと内



ちいさなりのエメラルド
【そのだえり作/絵 文芸堂】

ちいさなりのエメラルドはまだ眠たくないのにおふとんに入りました。うさぎのガーネットが本を読んでくれます。「むかしむかしある国に赤が大好きな王女様がいました。王女様が着るものはいつも赤…」ガーネットはそこまで読んでお仕事に出かけてしまいます。ちっとも眠たくならないエメラルド。まだ本の文字を読めないから誰かに読んでもらおうと、ひつじのおばさまの家へ。「王女様のおやつはいつも赤いもの。毎日赤いドレス」そこまで読んでもらい、おやすみなさいをします。まだ続きを読んでほしいエメラルドはそれからどうしたのかしら。



※()内作者名

いつも自分のせいにする罪悪感がずっと消えてなくなる本(根本裕幸) / 待ち遠しい(柴崎友香) / 羽州ぼろ鳶組②双風神(今村翔吾) / はじめてでもおいしくできる! おうちおやつ(森崎蘭香) / 仕事早いのにミスしない人は何をしているのか?(飯野謙次) /

「図書室だより」 中央公民館内 9:00 ▶ 16:00



【楽園の真下】
(荻原浩/文芸春秋)
最後に生き残るのは誰だ? コーラルブルーの海に囲まれ、亜熱帯の緑深い森に包まれている「日本でいちばん天国に近い島」志手島。その島で世界最大級のカマキリが発見された。「びっくりに動物大図鑑」を執筆中のフリーライター藤間は取材のため、現地へ向かう。だが、楽園とは別の姿が…。



【人間】
(又吉直樹/毎日新聞出版)
38歳の誕生日に届いた、ある騒動の報せ。何者になろうとあがいていた季節の果てで、かつての若者達を待ち受けていたものとは? 又吉氏はこう話す。「変な話だが、自分が小説を書くことになるなんて想像もしていなかった子供の頃から、この物語の断片を無意識のうちに拾い集めていたような気がする」

今月は19冊!

最後のページをめくるまで(水生大海) / 緋の河(桜木紫乃) / おもわずかんがえちゃう(ヨシタケシンスケ) / ギネス世界記録2020(クレイグ・ブレンディ) / 力尽きレシピ(犬飼つな) そのほか9冊

ふんばい

金山杉俳句会報 第四三四回

椿の実数えて拾う幼の手
赤とんぼ五百歩ずつのパート先
星川 きえ子

穂りたる稲穂の波に佇みぬ
松茸の土瓶蒸得て至福の夜
岸 あき子

草叢の風に揺れ咲く濃竜胆
掌落栗載せて転がせり
高橋 洋子

とんぼうに童心の指立てにけり
ちまちまと齢重ねて秋袷
鶴沼 よし子

坪庭の石組光る竹の春
はらからと迎へし里の柿花火
阿部 サタエ

花鉢を洗ひ清めし冬仕度
つや姫の稲穂たわゝに風光る
荒屋 阿部 勝子

秋の雨深き爪あと置いて去り
山里の希望背負へり落花生
菅 越 庄司 けみ子

紅葉山縫ふてドライブ家路かな
濁りざけ酔ふて遊べる別世界
七日町 青柳 キエ子

秋色を置いて一雨去りにけり
観音の五色の旗や紅葉風
七日町 柴田 栖静

ひとひらの雲に応へぬ蔦紅葉
朝露を踏みて仏塔訪ねけり
羽場 坂本 徳太郎

並木道途切れ途切れの紅葉かな
柿むけば朝の静寂の救急車
上 台 阿部 一步

休憩のひと刻惜しむ冬囲ひ
紅葉やま他国に座せる越前寺
七日町 村松 奈風

颱風を送り安堵の地蔵講
ワープロをたより初冬の刻すこし



山形大学の地域連携型サークルチーム道草の町内での活動を紹介します。「金山町×大学生」で産まれる新たな可能性を模索します!

道草便り Vol.20

山崎地区「リンが地区」(Linn's area)

金山の人は良い人ばかりで、突撃していく私たちにも、丁寧な地区のことや暮らしのことを教えてくれます。

11月12日。今回、取材したのは、ニラ農家の須賀さんご夫婦。山崎では世帯の半分が農家さんで、ニラ農家さんもたくさん。国道13号を車で通ると地区の表のことしか分からなかったけれど、ニラ栽培が山崎で盛んなことや、皆さんがイキキと生活を楽しんでいることを須賀さんに教えてもらいました。素敵だなと思っただけは、ニラ農家が山崎地区で多いから、定年後でも自分もやろうと思ったという決意。農家を辞めていく方も

たくさんいる中で、ニラ栽培が盛んだから新たに農家を始めるという方がいるのは、地区にニラ産業が集積している強みだと思われました。「朝早くでも周りが出荷作業をそれぞれ頑張っているから、俺も頑張れるし、続けられる」と笑顔で話してくださった須賀さんは、ニラの時期が終わってからも、自家用の野菜や果実を何種類も作って生活を楽しんでいます。

農家が少なくなってきたり、人口減少の中でも、そこに住んでいる一人一人が楽しく過ごしているのが一番大事なんだなと教えてくれる山崎地区でした。



①須賀さんの何でも揃う部屋! ②(右から) ストープを囲みながら話が盛り上がりました/美味しく作るのが大変な安納芋を石焼き芋に。最高でした!